

成城大学に対する大学評価（相互評価）結果

I 総評

成城大学は、成城学園創立者澤柳政太郎が教育の理想とした「内在的な『天分』を伸ばし個性の花を開かせること」を受け継ぐ形で「成城大学のミッション・ビジョン」を定めている。大学のミッション・ビジョンでは、個性の暢達を主眼として「所求第一義」の精神に則った「独立独行」の人材育成を掲げており、そのもとに、大学全体の3ポリシーを適切に設定している。ただし、大学全体の3ポリシーと建学の精神や大学のミッション・ビジョンとの関連性に関してはもう少し明確化する余地があり、それにより成城大学の個性がより際立つと考える。

II 概評

① 大学全体のディプロマ・ポリシー（以下 DP と略す）について、適切に定められているか。

学力の3要素に基づき、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」の3つの観点から学修成果を定めており、修得すべき知識、技能、能力等の学修成果が明確に示された DP を適切に設定している。

ただし、「人材育成の目的」にある「個性の暢達」「豊かな個性」等が DP には含まれていないため、明示的に記述することで、成城大学らしさがより際立つと考える。また、DP 2 と DP 3 に「思考力・判断力・表現力」をあてはめているが、DP 2 には「表現力」が含まれているように読み取れないため、より能動的な「発信力」等を加えることで、対応関係がより明らかになると考える。

② 大学全体のカリキュラム・ポリシー（以下 CP と略す）について、適切に定められているか。

大学全体の DP を踏まえ、「教養教育」と「専門教育」に類別した形で、教育課程の編成及び実施に関する基本的な考え方が明確に示された CP を適切に設定している。

ただし、中央教育審議会大学分科会大学教育部会による『「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）及び「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）の策定及び運用に関するガイドライン』において「学修成果の評価の在り方等を具体的に示すこと」が求められているが、大学の CP には学修成果の評価についての記載がないため、ガイドラインに照らし、追記した方が良いと考える。また大学院に関しても、記述はあるが、より具体的に記載し

た方が良いのではないかと考える。

また、大学の CP において、「3つの理念」として「多様化する社会・文化の理解」「批判的かつ創造的な思考力の育成」「コミュニケーション能力の強化」が挙げられているが、いかなる上位概念に依拠しているかが不明瞭であるため、明確化が望まれる。さらに、大学の CP(1)に「実践的な外国語運用能力…等を育成することを主たる目的とする」とあるが、これに対応する授業形態が後に書かれていないため、明示した方が良いと考える。

③ 大学全体のアドミッション・ポリシー（以下 AP と略す）について、適切に定められているか。

DP と同様に、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」の3つの観点から求める学生像が示されており、入学前の学習歴、学力水準、能力等について明確に示されているとともに、DP との一貫性が確保された AP を適切に設定している。加えて、入試区分との対応関係についても表形式で整理されており、受験生に対して伝わりやすいものとなっている。

以上